

12月定例会では16人の議員が登壇し、市の考えをいただきました。
一般質問での答弁要旨を各議員からの寄稿で掲載しています。



一般質問



ココが聞きたい!!

- 中村 良夫 議員…………… 6
◆要介護認定者も障がい者控除が受けられる
- 根岸 勇雄 議員…………… 6
◆人員削減と職員給与の見直しを早急に
- 松本 正勝 議員…………… 7
◆佐渡汽船の新造船計画に佐渡市はどう係わるのか
- 村川 四郎 議員…………… 7
◆北埠頭開発計画は中止を
- 加賀 博昭 議員…………… 8
◆佐渡の大問題に2人の県議は何もしない
- 中川 直美 議員…………… 8
◆学校給食の民営化計画について
- 小 純一 議員…………… 9
◆TPP参加 現段階では容認できない
- 中 文夫 議員…………… 9
◆肅々と三角トレードを進めよ

- 祝 優雄 議員…………… 10
◆公務員共済組合のあり方について
- 廣瀬 擁 議員…………… 10
◆佐渡観光は夏季に絞り集中的に
- 金 淳一 議員…………… 11
◆不況による生活■窮者対策について
- 本間 千佳子 議員…………… 11
◆子ども・若者育成 発達障がい支援は
- 大桃 一浩 議員…………… 12
◆提案できる市職員の育成を■れ
- 浜 正敏 議員…………… 12
◆おおさど丸の事故で海上■衛隊の揚陸艦の要請を考えたのか
- 小杉 邦男 議員…………… 13
◆■の保育政策が大きく変わる今 保育■民営化方針は再考すべき
- 近藤 和義 議員…………… 13
◆税金のムダ遣いを斬れ



一般質問

中村 良夫 議員

要介護認定者も障がい者控除が受けられる

質問 介護保険の要介護認定者への障がい者控除が受けられる制度の周知方法について、その対象となる人が実際に利用できるような支援していく必要がある。

高齢福祉課長 より対象者が利用しやすい制度となるように検討していく。

介護保険証の交付時に独自のチラシを作り、周知を■る。

質問 佐渡市では、経済的に■つている家庭に小・

中学校でかかる費用を援助する就学援助制度を設けている。対象者が利用しやすいように分かりやすい周知をしてほしい。

学校教育課長 就学援助制度の案内文書とともに認定される基準、例えば夫婦と小学生2人の家庭では、所得額がいくら以下

であれば対象になるのかというような家族構成等による所得の■安を添付したい。申請書についても全員に配布したい。また、申請時の添付書類について今までは所得証明書等の提出を求めていたが、確認調査についての本人同意があれば不要にしたい。

質問 子宮頸がん予防ワクチン助成事業の周知方法、教育的課題、事業の継続について。

市長 対象年齢層が中学生の女子ということで、春期であるので、細やかな対応をしていきたい。今のところ、継続していく。

市民生活課長 対象者への周知方法として、養護教諭の協力を得ていきたい。詳しい事業内容のパンフ



レットを配布し、保護者にも理解していただき、専門の医師に依頼し、地域説明会も予定している。中学3年生は、本年1年間を対象期間とする。

佐渡市が無料接種へ

予防ワクチンの種類	佐渡市独自の助成制度	
	対象年齢	費用助成内容
子宮頸がん	中学1～3年生(女子)	全額助成
ヒブ	生後2か月から4歳以下	全額助成
小児用肺炎球菌	生後2か月から4歳以下	全額助成



一般質問

根岸 勇雄 議員

人員削減と職員給与の見直しを早急に

質問 人件費抑制について。

市長 人件費について職員の見直しによる人員削減と職員給与の見直しを行うことについて抑制を■っていく。また、見直しにあたっては予算総額から見た適正な総額を考慮しながら削減を進めたい。

質問 除雪対応について。

市長 今年度も除雪機械の管理に要する「■定費」と少雪時に必要経費を補償する「基本待機料」を支払う。昨年度と比較して「■定費」は1か月分を2か月分に増額、基本待機時間は30時間から40時間に拡充し、市民生活の安全・安心に努めていきたい。

質問 ナラ枯れ被害の状況と対策について。

農林水産課長 佐渡のシイタケについては乾しシイタケが主体で平成21年度の生産者は209人、生産費は35・9トン、県生産費の90%となっている。

市長 当初計画の平成23年7月竣工、10月開院で順調に進んでいる。

前年の約75%程度と減少している。新たなナラの植林は行わず萌芽促進を待つ。

質問 離島振興に関する取り組みについて。

市長 離島振興について市議会と協力しながら進める。一方、全■離島振興協議会

会長としても政府関係省庁等に意見要望等すでに働きかけている。



グレーダーによる除雪作業



一般質問

松本 正勝 議員

佐渡汽船の新造船計画に 佐渡市はどう係わるのか



質問 平成23年3月、甲子■球場で開催される選抜高等学校野球大会の21世紀枠での出場に、佐渡高校が推薦されることを佐渡島氏の一人として心から祈念して質問本題に入る。

市長 この社会資本整備交付金による佐渡汽船の新造船計画について、建造後長期にわたり運賃の大幅割引が担保され、島氏の負担軽減や観光客増加などが■られるとすれば、大いに推進すべき事業と思うが、その後の進捗状況と見通しについて尋ねる。

市長 この事業について市町村要望を含めた県全体の社会資本総合整備計画に登載すべく■へ説明を行っている。現在は■からの返事待ちだが、■

も一括交付金の問題で調整中とのことも聞いている。

質問 この交付金事業が採択されれば、市の持ち出しは建造費の35%であるから、60億円の船価でみれば21億円と試算できる。新造船の仕様（大きさ、性能、適正な船価）について検討、研究、調査はしているか。

交通政策課長 客に与える影響などを考え、一応5000トン級で申請しているが、島氏や議会の意見を聞いて、事業採択、あるいは事業申請までの間に詰めていく必要がある。議員から出された資料等により、今研究している状況である。

質問 万一この事業が不調に帰した場合、佐渡航路における島氏の利益確保や交流人■の増加のため事後の方策を考えているか。また、株式の大幅取得を視野に入れ、佐渡汽船の経営に積極的に関与すべき時期に来ていると思うが、市長の見解を尋ねる。

市長 この事業については、金額の多寡は別として樂觀しているが、もしだめであれば議会と相談していずれにしても佐渡汽船の料金低減を一義的に考えたい。



一般質問

村川 四郎 議員

北埠頭開発計画は中止を



質問 両津の北埠頭開発計画は、佐渡市の崩壊を招く。人■減少■治体の都市づくりは施設の集中と有効活用によるコンパクトシティー化の流れだが、現計画は時代に逆行しており、大きな無理がある。また委員会審議も不十分であり、中止か大きく変更すべきである。

市長 両津港を観光客をもてなし、島と港町の雰囲気を楽しんでもらうためには北埠頭開発がどうしても必要だと判断した。南埠頭とは離れているが、地域に愛される連携したシンボリック構築物も必要と考えた。一つの観光的施設を地域の人も利用し、港と商店街とが一体感のある開発を■指したい。

質問 周辺地域活性化のため支所等の権限を認め、地域の独自性を生かす施策の実施が必要。人材、権限、予算無しでは地域は崩壊する。予算付けをして支所等の■■裁量とすべき。

市長 合併後、権限は本庁へ集約した。本庁の権限強化と地域権限のバランスはなかなか■難だが、地域審議会も含め一定の発言力を認めることは非常に大事である。本庁と支所等の連携を密にして地域活性につなげる仕組みをつくっていききたい。

質問 TPPと佐渡の農業について、佐渡への影響と対策は。地元産業対策として黒毛和牛の繁殖と肥育の規模拡大が必要である。

市長 農業に極めて痛手と認識する。トップに近い品質を維持できないと最終的には敗退する。朱鷺と暮らす郷づくり認証米は、現在その地位を確保しつつある。その意味で、和牛経営を大規模シフトするのは極めて大事で、佐渡和牛の質をどう上げていくかが生き残る一番大事なことと思う。

市長 農業に極めて痛手と認識する。トップに近い品質を維持できないと最終的には敗退する。朱鷺と暮らす郷づくり認証米は、現在その地位を確保しつつある。その意味で、和牛経営を大規模シフトするのは極めて大事で、佐渡和牛の質をどう上げていくかが生き残る一番大事なことと思う。

* TPPとは：環太平洋経済連携協定の略



両津港埠頭地区施設完成予想■

一般質問

加賀 博昭 議員

佐渡の大問題に 2人の県議は何もしない



質問 放置できない佐渡の政治的課題であるが、第1は、佐渡空港2000m化の問題。水10アールあたり500万円を200万円に引下げて同意を取直せの県の暴挙に、

市長 最終的に残った人たちに、これがうまくいかなければ辞職する覚悟と明言した。

質問 佐渡汽船は今から80年前「越佐航路県営に

市長 助成実施に向けて検討したいと考えている。

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

交通政策課長 ありません。

質問 12歳以下の子供はインフルエンザの予防注射を2回打つため、一般より2550円余計に

市長 助成実施に向けて検討したいと考えている。

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

質問 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

市長 両津病院に10億円を渡し、見返りに病床24

高松福祉課長 年間3000万円の増収となる。



一般質問

中川 直美 議員

学校給食の民営化計画について



質問 TPPは、農業や地域を破壊させる。トキや里山を重視する佐渡市長として反対すべきではないか。

市長 佐渡の特殊条件を考えると反対である。

質問 米価下落に対応して、生産費の中で割合の大きい農機具への支援や

副市長 小手先のものでなく、耕作放棄地も含めた中山間地域の総合的対策を今後行う。

質問 来年、小学校の授業時間等が大幅に増え、

教育長 移行期間を経て実施され問題点はない。

質問 学校給食の民営化計画は、食育基本法や改正学校給食法、学習指導

総務課長 職員の評判は特段悪くも良くもないが、

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市民生活課長 昨年、独自の状況も見ながら必要な見直しをする。

質問 TPPは、農業や地域を破壊させる。トキや里山を重視する佐渡市長として反対すべきではないか。

市長 佐渡の特殊条件を考えると反対である。

質問 米価下落に対応して、生産費の中で割合の大きい農機具への支援や

副市長 小手先のものでなく、耕作放棄地も含めた中山間地域の総合的対策を今後行う。

質問 来年、小学校の授業時間等が大幅に増え、

教育長 移行期間を経て実施され問題点はない。

質問 学校給食の民営化計画は、食育基本法や改正学校給食法、学習指導

総務課長 職員の評判は特段悪くも良くもないが、

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市長 立入禁止について「本格開放」の方向に進んでい

市民生活課長 昨年、独自の状況も見ながら必要な見直しをする。